

地球温暖化の状況・影響

水害



ドカ雪



※大野市内で起こった洪水や大雪の風景

あれもこれも温暖化のせい？

「ゲリラ豪雨」や「ドカ雪」、「観測史上初めて」の東北地方への台風上陸、大雨で起こる洪水など、「異常気象」がよくニュースになります。すべての気候変動の原因が温暖化が理由というわけではありません。しかし、平均気温が上昇し、海水温が上がることで、台風の大型化や、線状降水帯による豪雨の頻発化など、災害が増えることとなります。災害が増えれば、人的にも物的にも大きな被害が生じます。

CO₂排出をゼロにするなど強力な対策を講じない限り、危機的な状況は避けられません。2022年の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書では「人間の影響が大気、海洋、及び陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない」と結論づけています。

【温室効果ガスの発生もと】



IPCCとCOP29(2024年11月)について

「地球温暖化」について 世界の国々では危機感を持って対策を協議しています

毎年、11月に国連気候変動会議が開催されています。2023年はアラブ首長国連邦(UAE)ドバイ、2024年はアゼルバイジャン・バクーで開催されます。この期間の前後にはCOPでの話し合いの内容などが報道されますので、メディアを注目してみましょう。
(2022年現在の締約国198ヶ国)

日本の目標について

2030年度CO₂:**46%**削減、さらに**50%**の高みに向けて挑戦を続けるという目標を掲げています。(家庭部門は**66%**削減!) (対2013年比)

地球は氷期にはいるって聞いたんやけど？

確かに、地球は氷期と間氷期をくり返しており、遅くとも19世紀ごろには氷期になっていなければならない時期であるともいわれていました。しかし、現在の地球は120年の間に1.75度も平均気温が上がっています。これから氷期になるから温暖化対策をしなくてもよいかという残念ながらそうではありません。次の氷期は10万年程度遅れる、と予測されています。氷期になれば気候は荒れますが、温暖化によっても集中豪雨やドカ雪、猛暑続きで米の不作になるなど、極端な気候の被害を受けることになります。

変化がゆるやかであれば人間生活も適応していくことが出来るかもしれませんが、現在の温暖化のスピードは決して緩やかではないのです。現代に生きる私たちが、今後数十年の期間で対応を考えるとすれば、まずは人為的な温暖化に歯止めをかける必要があります。



市の取り組み 大野市脱炭素ビジョン

令和5年3月に策定した、カーボンニュートラル達成と地域課題の同時解決が図られた望ましい絵姿を描き、目標や取り組み方針、プロジェクトを掲げた計画です。市民、事業者、行政など、多様な主体が協働・連携し、一丸となって市全体の脱炭素化を進めていくこととしています。



デコ活ふくい

デコ活とは「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、二酸化炭素を減らす脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

みんなができる！ 脱炭素アクション デコ活アクションに 取り組もう

「ふくecoアプリ」を活用して家計にも優しい
デコ活アクションにチャレンジしてみませんか？

脱炭素につながる行動(エコアクション)をする、対象スポットに掲示されたQRコードを読み込む、などの行動でポイントがたまります。ポイントがたまったら賞品の抽選に参加できます。みんなで豊かな脱炭素社会をつくっていきましょう！

「ふくeco」は、福井県が運営する、県民の脱炭素を応援するサービスです。



ふくecoアプリ

をダウンロードして早速デコ活を始めよう！



温暖化ってほんとに
わたしたちのせい？

